

平成16年度第2回宇都宮市高等教育機関連絡協議会事務局長会議 会議録

- 1 開催日時 平成17年2月25日(金)
午前10時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 宇都宮市中央生涯学習センター 301学習室
- 3 出席者氏名 宇都宮大学 理事 吉田 和文
作新学院大学女子短期大学部 事務局長 石崎 雄司
作新学院大学 //
帝京大学理工学部 就職室室長 柴田 敬之
宇都宮市教育委員会 教育次長 福田 幹雄
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者の数 0名
- 6 議事
 - (1) 高等教育機関連絡協議会の今後のあり方について
 - (2) 高等教育機関連絡協議会における事業実績について

福田次長

それでは、次第に従いまして、議事を進行させて頂きたいと思
います。議事の運営に付きまして、御協力の程、宜しくお願
い致します。

都合により、本日は少人数になりまして、申し訳ございませ
んでした。今日御欠席の方には、ある程度内容に付いては、お
話を申し上げますので、ご理解を宜しくお願
い致します。

(1) 高等教育課の連絡協議会の在り方についてを議題と致
します。事務局の説明の後、この件に関して皆様からのご
意見を聞きたいと思
います。

〔事務局説明〕

以上で、議事1に付いての説明を終わらせて頂きたいと思います。

福田次長

4月から市政研究センターとなりまして、政策審議室に属する機関で御座います。昨年4月にスタートしました。こちらの方に、今までの高等連絡協議会が持っていた役割を移して良いだろうと、言う事で、付きましては、本年度を持って終息の形にしたいと言う、提案でございます。そうは言いますが、生涯学習側では、今まで以上に勉強しながら、やって行くと言うことですので、解消しても生涯学習部分関連については、続けてやって行きたいと思っております。

何か御質問御座いましたらお願いします。

吉田理事

市政研究センターをもう少し詳細に、我々との関係だけでは無しに、一般的な業務、目的とか具体的事業がお分かりでしたら教えて下さい。

事務局

今年度立ち上がった組織でありまして、現在のところ、連携事業としては、十分に進んでいない状況とのことです。市政研究センターの機能的なものに付きまして、資料2ページに記載のあるとおりですが、おおよそ、各大学との連携事業の把握、各高等教育機関等の講師陣の派遣、登用など依頼する時の窓口となります。庁内と大学とを結ぶ連絡・調整等の役割を担っていくと言うことです。

吉田理事

高等教育機関との連結の部分は？

事務局

そもそも庁内のシンクタンク機能と言う事が狙いでございまして、政策課題の自主的な研究、各課にまたがるような行政課題の研究、或いは検討というものを各課に支援するのが狙いです。内部だけでなく大学側と連携をとり、行っていくという事です。16年に立ち上がりましてもので、これから、検討していくという事です。

次長 現実的には、今の所、役割機能はその様になっておりますが、新しい組織のため、正直なところ手探りで進んでおります。

吉田理事 市とは、切り離されている組織ということですか。

事務局 政策審議室の一部門に入っています。

吉田理事 話は変わって恐縮ですが、今、宇都宮大学が中心に県下の全高等教育機関で、コンソーシアムを設立し、産学官の連携を進めることを考えております。事務局の指摘では、高等教育機関連絡協議会と市との連携が、生涯学習中心になっているとのことでしたが、それ以外の部分での高等教育の役割も模索している所であります。

市の全般的な行政課題の解決に向け、我々もどのような連携ができるのかという部分がありますので、研究センターが、窓口的なことをしていただけるのであれば、意見交換等もしやすくなるものと思います。

福田次長 はい。ありがとうございます。その他に、何かありますか。

石崎事務局長 時代と共に色々と変わってきていますから、機能を果たしていないものをいつまでもやっても仕方ないのではないかと思います。

色々な機関で色々なことをやっているのです、私は、どうしたら効率的に進められるのかを考えたほうが良いのではないかと思います。

福田次長 はい。ありがとうございます。

柴田室長 色々な角度から連携できており、これからスリム化していかなくてはならないというのであれば、重複する組織は必要ないものと思います。

事務局 ありがとうございます。

福田次長

ちなみに、この組織は平成元年に設置されたもので、既に16年経過しております。組織自体は、各大学の学長と市長、教育長という枠組みになっており、最初の頃は、何回か学長レベルでの会議を開催したのですが、その後、事務局長の会議が中心になってしまったわけです。

今後、各大学の学長と市長、教育長との意見交換等が必要であれば、政策審議室あたりが、調整する事になろうかと思えます。

議題1に付いては宜しいでしょうか。

本日お見えになっていない所の事務局長さんも、基本的には同意見という事で良いですね。

事務局

この件についての了承は、頂いております。

福田次長

全員、御了承と言う事で、議題1に付きましては、終了したいと思えます。次の議題2に移りたいと思えます。事務局からお願いします。

〔事務局説明〕

福田次長

ありがとうございます。

これは、主要事業の実績報告ですか。

事務局

高等教育機関を窓口として実施した主な事業という事です。

福田次長

連絡協議会が窓口となって実施した事業と言う事ですね。市全体としては、色々な形で、連携・協力をお願いしたいと言う事で、特に生涯学習については、先ほども出ていたように、具体的には3ページの方にあります内容等について、今後とも引き続き、連携・協力をお願いしたいと思います。

福田次長

今までの中のご質問、ご要望が有りませんか。

ございませんでしょうか。

それでは、本日はこの2点でございます。

本日は終了とさせていただきます。その他で、事務局から報告をお願いします。

事務局

今年度の決算という形になりますが、本来はこの場をもって、おはかりすべきですが、年度途中という事もありますので、年度末をもって作成し、3月末の終了時点において、当協議会の監事であります学長を訪問致しまして、監査を受けるという事を考えております。また、本日の会議内容等につきましては、各大学の学長にご報告いただきます様に、ご了解頂きたいと考えております。以上です。

福田次長

決算に関しましては、そう言うことで、お願いいたします。何か御質問ありますか。

吉田理事

先ほど触れましたコンソーシアムですが、今年4月1日を予定しておりますが、県内全ての大学、技術大学、短大、高等教育機関が、宇都宮大学が主催になっておりますが、全校を網羅したコンソーシアムをつくるというものです。

このコンソーシアムでは、もちろん生涯学習への対応もありますし、産学公連携への対応もありますが、大学間連携が一番大きなものになります。産学公連携においては、自治体との連携をどんどん進めていかななくてはならず、これから高等教育に与えられた任務であると考えています。栃木県の方には、来年度予算で、どれだけの協力ができるかという事を検討いただいているところですが、再来年18年から具体的な資料について考えるという話になっているところでございます。(コンソーシアム)事務局としましては、各大学に対しまして、地元の各自治体から、栃木県と同じ様な協力をいただけるようお願いをしております。宇都宮市に対しましては、先の話にありました市政研究センターと色々な事

業で議論させて頂くと共に、願わくば、サポートをお願いしたいと考えております。

国立大学だけかも知れませんが、国の方でも色々な競争的な予算を付け始めております。この予算は、どちらかというと、地元との連携を重視しており、「実績のある所に佇まいを」という動きが出てきておりますので、様々な形で導入し、「地元との密接な連携を推し進めて行こう。」と考えております。あらためまして、コンソーシアムが立ち上がりましたら、生涯学習課や市政研究センターにもご指導をお願い申し上げたいと思います。宜しくお願い致します。

福田次長

ご連絡頂ければ、しかるべき担当の者が、対応いたします。

他に何かご意見ございましたら。

廃止にあたっては、協議会としての文書を作って、持ち回りにより、それに同意するといった書類などが必要と思いますので、事務局で事務手続きを検討してもらえますか。

事務局

改めてお集まり頂くのも大変ですので、検討させていただきたいと、思います。

福田次長

以上を持ちまして、終了させていただきたいと、思います。